

(審議内容の一部を掲載しました)

杉の子幼稚園前の道路改良 今年度施行

メルシャン跡地の建物解体 12月から2月の予定

町民建設経済

総務福祉文教

平成27年度一般会計補正予算

1台70万2千円の除雪機は実験的に区に貸与ということだが、どの様な計画か

A 前回の大雪で、各区長より「町で除雪機を購入し区へ貸与を」との要望が出た。その際、保管場所や維持管理・事故等の課題も上がり、実験的にこの区に貸与を行い、問題点の把握をしていきたい。

除雪機は80cm幅の手押し型を予定している。

役場庁舎の整備経費1億7千万円を基金から繰り入れるが、今後の経費の方向性として基金を入れるのが一般財源を入れるのか。

A 基金残高は、26年度末で17億円あるが今回1億7千万円使用し16億円弱となる。当初計画では建設費20億円の予算だったが、昨今の近隣事業状況や資材等の高騰状況がある。

そうしたことから、26年度決算での剰余金を、単に繰越金として扱わず、役場整備基金に3億円積み増しをしている。27年度決算でも繰越金の額により同様に考える。残り財源を全て一般財源にすると単年度収支が回らない。役場庁舎は50年は使っていくという状況の中、将来世代にも負担をお願するものと考えている。

社会保障税番号制度の正式名称と後に年金・医療関係等外部連携されるのはいつか

A 「社会保障税番号」といい、通称が、マイナンバーという。年金・外部連携は平成29年7月から始まる予定である。

条例改正

保育料徴収条例改正案で、同一世帯において3人以上の児童がいる場合、3人目以降の児童の保育料が月額6千円を上限に減額するとあるが、同時入園なのか3人子どもがいれば良いのか

A 同時入園ではない世帯になるので、高校生でも小学生でも子どもが3人いれば対象となる。対象は試算中だが、30〜50世帯になると思われる。

平成27年度一般会計補正予算

道の駅の話はこのようになっていくか

A 検討委員会費用として予算計上してあるので今後委員を選考し検討を進めたい。委員は12名で、27年度は会議を4回開催予定である。

都市計画道路東原西軽井沢線の進捗状況は

A 概略設計の委託は終了している。概略工事費や予定ルート選定の図面はできているが、これから方向性や補助金について検討していく段階である。

東原児童館で土地購入費1千500万円とあるが予定地はどこか

A 児童クラブの対象学年を3年生から6年生まで引き上げることになり、今の施設では面積的に大変狭いので新築を考えている。場所は確定していないが、約2千㎡の土地購入を予定している。

近隣高校の周年記念事業への補助金については、細かい区切り等、要請に対し町基準を作る必要はないか

A 高校なので教育委員会としての補助義務は無いが、町長へ要請が来るため補助する。学校の所在と、町との関わりのバランスがある。基準は作らず近隣との相談の中で進める。

メルシャン跡地の建物の解体時期は

A 本年12月から来年2月までの工期と、実施設計業務は本年10月から来年8月までの予定をしている。



解体予定の建物群

杉の子幼稚園前の道路改良予定と、社会資本整備総合交付金3千600万円減額と地方債7千700万円の増減理由は

A 杉の子幼稚園前の道路改良は秋頃から3月末を予定している。

27年度概算要望事業費から交付金7億6千万円を計上し、道路事業10路線と大林・東原児童館整備と龍神の杜公園の園路整備を計画したが、交付額は要望額の35%程度であったので今回減額するものである。

一昔前は要望した分だけ交付決定されたが、非常に不安定な状況である。今回の内示額確定により、事業費は確定できるだけの分とした。



改良予定の道路